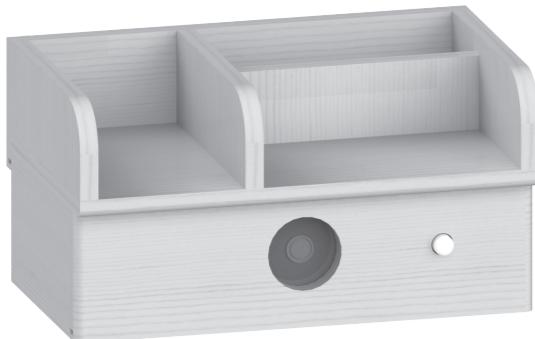


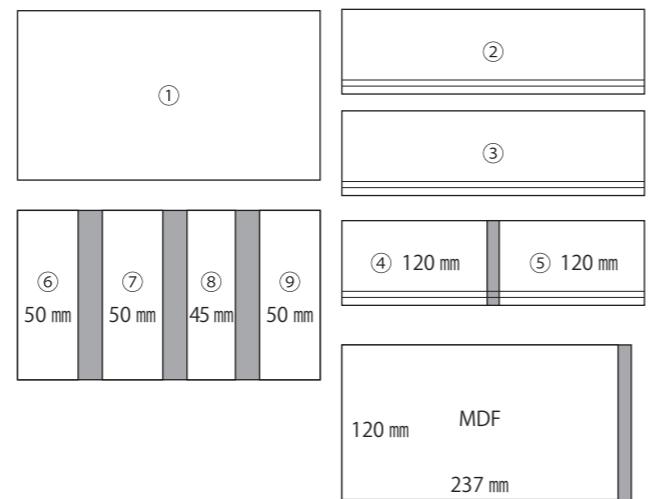
製作例の作り方や構造を把握して自分だけの作品に挑戦しましょう。

応用例2 ラックタイプ

ペンや消しゴムなどかんたんな文房具を収納するためのラック。さらに発展すればスマートフォンスタンドなどを作ることも可能です。

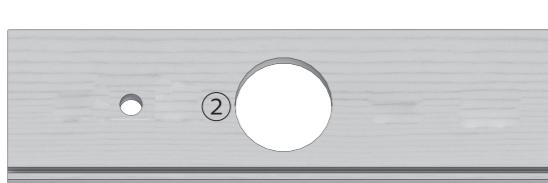


製作例の材料取り図



1. 組み立ての前準備

各ユニットを取りつけるための穴など、組み立ての前準備をします。



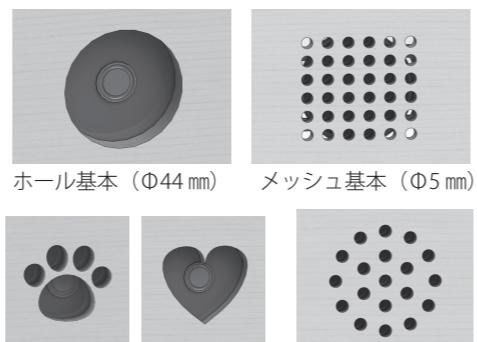
- ① 各自の設計をもとにユニットを取りつけのための穴あけをしておきます。
※穴位置などは型紙を利用しましょう。(8, 9ページ参照)



- ② 背板になる板には溝のない端から 50mm の位置にけがきをしておきます。

POINT

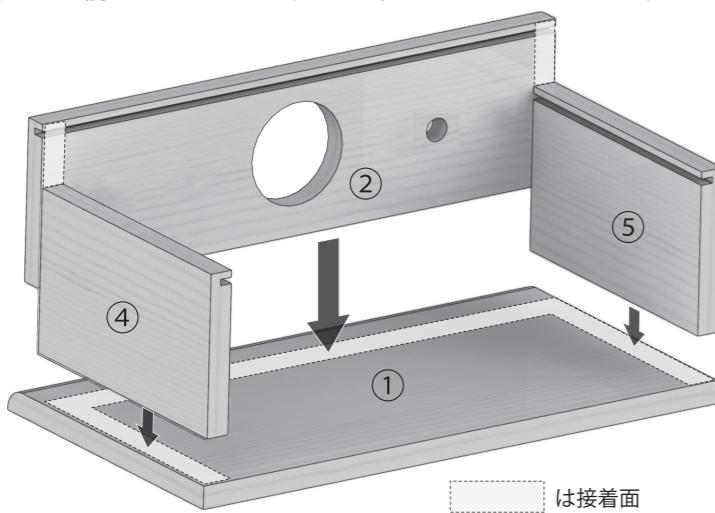
スピーカホールの加工



糸のこ盤やボール盤を活用してスピーカホールでも個性を活かすことができます。

2. 材料の接着1 (下側)

棚板(①)を基準にそれぞれの板を接着します。また、ユニットの取りつけ前にやすりや塗装などの仕上げもしておきます。



POINT

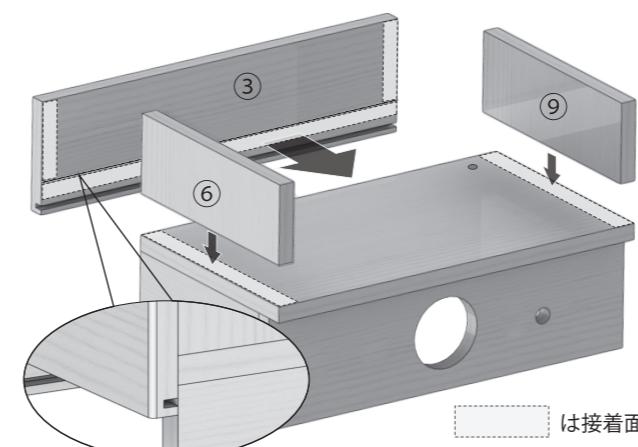


POINT

各自の設計で組み立て後にユニットを取りつけられない場合があります。その場合は組み立てる前にユニットを取りつけておきましょう。

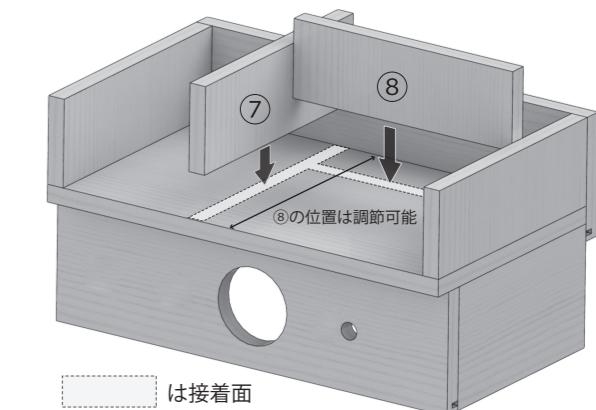
3. 材料の接着2 (ラック側)

ラックになる部分の材料を接着します。



4. 材料の接着3 (仕切り板)

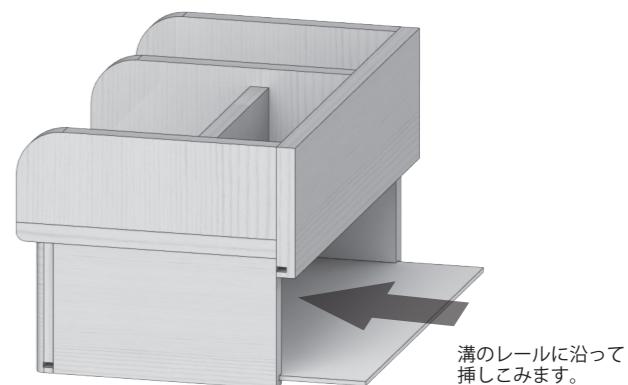
必要に応じて仕切り板を接着してください。



※仕切り板(⑧)は配置場所によって作品の雰囲気や使用目的が変化します。接着前にいろいろ試してみましょう。

5. MDFの取りつけ

背面から溝に沿って MDF を挿しこみます。



つまみは強く押し込むと部品が破損します。注意しましょう。